

駒宮神社：「陰陽石」と「銭石」

駒宮神社の本殿の裏手にある断崖は、古来より信仰の対象となっていたとされています。少し想像力を働かせると、その凹凸のある表面の一部は、男性器と女性器が向かい合っているように見えます。日本では古くから、このように見える岩は、安産や五穀豊穡、縁結びなどの縁起物とされてきました。2018年にこの岩の前の地面を発掘すると、コインに似た形をした小石が大量に見つかりました。これらの石は何世紀も前に、子供に関することで神の助けを求めて祈りに来た帰依者が残したと考えられており、彼らの願いが叶う可能性を高めるために「コイン」を神に捧げたと考えられています。2018年の発見をきっかけに、駒宮神社では石のレプリカを作成し、参拝者が購入して「陰陽石」の前に置いておくことができるようになりました。